

## 臨床研究のお知らせ

① 試料・情報の利用 目的及び利用方法	研究課題名	通過障害を伴う進行胃癌患者に対する W-ED チューブを用いた術前栄養管理の検討
	実施予定期間	倫理審査承認後（2025年3月18日）～2030年3月31日
	研究の概要	当院では、通過障害を呈する胃癌患者さんには、胃癌手術前に W-ED チューブを用いて胃内減圧を行いながら、経腸栄養管理を行っています。 この術前栄養管理により、栄養指標の変化や術後合併症の頻度にごのような影響を与えるか検討します。
	対象患者	2022年4月から2030年3月の間に、当院において、術前 W-ED チューブで栄養管理の後、胃癌手術をされた患者さん
② 利用または提供する試料・情報の項目及び個人情報保護について	既存のカルテから年齢、性別、身長、体重、BMI、検査データ（病理、血液）、胃癌stage、手術術式、周術期合併症、W-EDチューブ留置期間、W-EDチューブ排液量、栄養管理に関わる情報などを調査します。結果の公表の際は、個人が特定されないように個人情報を保護します。情報の利用を開始する予定日は倫理審査承認後です。他機関への情報提供は行いません。	
③ 研究責任者	県立広島病院 研究責任者 消化器乳腺移植外科・部長・藤國宣明	
④ 試料・情報を利用する者の範囲	当院の研究者のみ	
⑤ 試料・情報の管理責任	県立広島病院	
⑥ 試料・情報の利用・提供停止について	本研究の対象患者に該当する可能性のある患者さんで、ご自身の試料・情報等が研究に利用されることを拒否される場合は、⑦の窓口にお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療などに不利益が生ずることはありません。 （ただし、お申し出の時点でデータ解析等が終了している場合は、データを利用させていただくことがありますのでご了承ください。）	
⑦ ⑥の受付	⑥について、ご希望の方（代理人可）は下記の相談窓口にご連絡ください。	
	相談窓口	県立広島病院 消化器乳腺移植外科 職名 部長 氏名 藤國宣明 TEL（代表）：082-254-1818（平日 8時30分～17時15分）
研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できますので、問い合わせ先にご連絡ください。		